

A photograph of a river flowing through a dense, lush green forest. The water is a vibrant green color, and the surrounding trees and foliage are also in various shades of green. The scene is peaceful and natural.

2024年5月5日
5月第一主日礼拝式／聖餐式

「聖なる主の御名をたたえ」

(詩篇63:3)

聖なる主の御名をたたえ

ほめ歌をささげます

ちから強いイエスの御名を

たからかに歌います

あなたの恵みは いのちにもまさるゆえ

私のくちびるは あなたを賛美します

聖なる主の御名をたたえ

ほめ歌 ささげます

142 主の愛はとこしえまで

主の愛はとこしえまで

その恵みは尽きず

朝ごとにくる 新しい

あなたのまことは 力強い

新聖歌171番 「今日まで守られ」

- 1 今日まで守られ 来たりしわが身
露(つゆ)だに憂(うれ)えじ 行くすえなどは
いかなる折(おり)にも 愛なる神は
すべての事をば 善(よ)きにしたまわん
- 2 か弱き者をも かえりみたもう
わが主の恵みは この身にたれり
賑(にぎ)おう里(さと)にも 寂しき野にも
主の手にすがりて 喜び進まん
- 3 主の日ぞいよいよ まぢかに迫る うきよの旅路も
しばしの間(ま)のみ 間もなく栄えの みくにに行きて
永遠(ときわ)にたえせず わが主と住まわん アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌18番 「おお御神^(みかみ)をほめまつれ」

1 おお御神を ほめまつれ 尽きぬいのち あたえんと
ひとりごをも おしみなく よびとのため くださったもう

* ほめよほめよ 神の愛を 歌え歌え 主のみわざを
そのみわざに現われし 父なる神の恵みを

2 主は贖^(あがな)い なしとげて 御名に頼る 人々の
罪はいかに 深くとも 赦しあたえ 助けたもう

* (くりかえし)

3 げにとうとき み救いよ いとくすしき み教えよ
たぐいもなき喜びは 再び主に 見^(まみ)ゆる日

* (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン